

代表者名	山本 健蔵	所管部課名	農林水産部農業経済課
所在地	秋田市山王3-8-15	設立年月日	昭和28年6月16日

**【沿革及び県の出捐理由】**

中小漁業融資保証法に基づき、中小漁業者等の漁業経営に必要な資金の融資を円滑にするため、系統金融機関が行う中小漁業者への貸付に対して債務保証を行うことを目的に昭和28年設立され目的達成支援のため出資。

**【出捐者】（24年度当初）**

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	153,150	44.0
市町村	7	42,450	12.2
その他	61	152,400	43.8
計	69	348,000	100.0

**【事業】**

①主たる業務

信用補完業務  
中小漁業者が系統金融機関から資金を借入する際の債務保証をすることを通じて中小漁業者の発展に寄与する。

②事業実績

(百万円、件)

事業名等	21年度	22年度	23年度
保証残高	816	835	751
保証件数	132	147	141

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

23年度保証業務 新規 5件 29,800千円 求償権回収880千円  
24年度保証業務 新規42件 210,000千円 求償権回収794千円

**【組織】**

①役員数 (H24.7.1現在) (人)

	理	事	監	事
常勤			1	
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤			8	3
内、県退職者				
内、県職員			1	
計			9	3
内、県関係者			1	

②職員数 (H24.4.1現在) (人)

正職員	1	正職員 平均年齢 54歳	正職員 平均勤続年数 36年
内、県退職者			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	1		
内、県退職者			
計	2		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	8人
役員報酬支給対象者平均年齢	67歳
平均役員報酬額	645千円/年

**【財務】**

①損益状況 (23年度) (千円)

	金額	金額
経常収入 A		32,573
受託事業収入		
補助金収入		
自主事業収入	18,555	
運用益収入	13,737	
その他	281	
経常支出 B		35,421
人件費	17,634	
その他	17,787	
経常損益 C=A-B		△ 2,848
経常外収入	8,511	
経常外支出	5,003	
諸税		
当期損益		660

②財務状況 (23年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	817,982	50.5
固定資産	801,372	49.5
資産計	1,619,354	100.0
流動負債	980,384	60.5
短期借入金	213,300	13.2
固定負債	160,858	9.9
長期借入金	94,700	5.8
負債計	1,141,241	70.5
基本金	348,000	21.5
剰余金	130,113	8.0
正味財産計	478,113	29.5
負債・正味財産計	1,619,354	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	25,704	25,704	100.0%

**【県の財政支出】**

(千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 性	自己資本比率	%	28.36	27.76	29.52	△ 0.60	1.76
	借入金依存率	%	17.82	18.49	19.02	0.67	0.53
	流動比率	%	92.70	89.66	83.43	△ 3.04	△ 6.23
	経常収入額	千円	69,178	21,643	32,573	△ 47,535	10,930
効 率 性	剰余金（△欠損金）	千円	133,714	129,453	130,113	△ 4,261	660
	総資本利益率	%	△ 0.51	△ 0.31	△ 0.18	0.20	0.13
	職員1人当たり経常収入	千円	34,589	10,822	16,287	△ 23,767	5,465
	人件費比率	%	25.38	80.83	54.14	55.45	△ 26.69

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営 改善 指 標	自己資本比率 (%)	目標	21.00	20.00	20.00	20.00
		実績	28.36	27.76	29.52	
事業 成 果 指 標	事業管理費 (千円)	目標	21,890	22,000	22,000	21,000
		実績	22,763	21,846	22,404	
事業 成 果 指 標	債務保証額 (千円)	目標	785,000	780,000	780,000	780,000
		実績	816,020	835,520	750,645	
事業 成 果 指 標	求償権回収額 (千円)	目標	2,480	1,000	1,000	800
		実績	2,548	1,060	880	
顧客満足度指数	目標		—	—	—	—
	実績		—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

本県漁業においては、冬場の天候不順が続き出漁日数不足やハタハタの水揚げ減少等により依然として厳しい状況が続いており、漁家経営の継続及び経営の維持安定への支援が急務となっている。

協会では、県内漁業者の経営の維持安定を図るため、保証業務を推進しているが、平成21～22年度に実施した「漁業緊急保証対策」の反動もあり、平成23年度の新規保証は5件、29,800千円と大幅な減少となった。

経営収支については、緊急保証対策の保証により保証料収入の増加が図られ、基金運用についても利回りの高い商品への切り換え等により運用収入の増加が図られ、また、事業管理費の削減に努めた結果、最終的に約660千円の当期利益を計上した。

今後も協会の財務基盤の強化と事業規模の拡大を図るため、国の「基金協会組織強化対策事業」に参画し、合併等による組織再編について検討していく。

4 総合評価（計算書類等の資料による評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>保証件数は少なかったものの、保証料収入の増加及び財務収益の増加により、経常収入が増加したため、経常収支は2百万円改善し、2百万円の赤字となった。</li> <li>投資有価証券売却損益が前年度よりも2百万円改善し、当期利益が660千円の黒字で終了した。保証債務の弁済能力比率は一般資金の償還事故率が倍増し、下落したが、国の健全性基準値の200%を大きく上回っている。</li> </ul> <p>&lt;早期の改善が望まれる事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保証債務の弁済能力を充実させるため、代位弁済の低減並びに求償権の回収に努めることが求められる。</li> </ul>	